



※医療型障害児入所施設

- 光園園（柏市）
- 下志津病院（四街道市）
- 千葉リハ愛育園（千葉市）
- 桜木園（千葉市）
- 千葉東病院（千葉市）
- 聖母療育園（旭市）

○ 医療的ケア児等コーディネーターについて教えてください。

▲ 医療的ケア児者が必要とする保健、医療、福祉、教育等の多分野にまたがる支援の利用を調整、総合的かつ包括的な支援の提供につなげるとともに、医療的ケア児者に対する支援のための地域づくりを推進する役割が求められています。医療的ケア児者への支援は、多機関多職種が関わり相談窓口も多いのですが横



左から、医療的ケア児等コーディネーター 佐藤裕夫氏  
医療的ケア児等コーディネーター 山野木大海氏  
医療的ケア児等コーディネーター 眞山朝子氏

断的な連携のための総合調整が必要でありその軸となるのが医療的ケア児等コーディネーターです。  
私たちほらりすのコーディネーターの他にいくつかの市町村でも配置されています。新たに、配置を検討している市町村も複数あると聞いています。

千葉県医療的ケア児者（平成30年度）の医療的ケア児者（平成30年度）

- 重症心身障害児者（18歳以上） 874名
- 重症心身障害児（3歳～18歳未満） 621名
- 医療的ケア者（18歳以上） 419名
- 医療的ケア児（1歳～18歳未満） 533名

千葉県では平成30年度に重症心身障害児者および医療的ケア児者を対象に実名による実態調査を実施しました。この調査は、重症心身障害児者および医療的ケア児者が、どこでどのように生活し、どのような支援を必要とされているかを、行政が実態を把握し支援に繋げるために、実施したものです。調査結果はリスト化し、市町村ごとに名簿を管理しています。今後は、毎年市町村が主体となって実態調査を実施し医療的ケア児等のニーズ把握を進めることに、災害時の避難計画の策定等に繋げ、支援体制を整備されることを期待しています。

医療的ケアとは？

医療的ケア児とは、生きていくために日常的にたんの吸引や経管栄養や呼吸器管理などが必要なお子さんのことです。病院で行われる治療のための医療行為とは異なり、子どもが日常生活を支えるために家族が医療行為を毎日行っています。



「ほらりすのみちしるべ」

「医療的ケア児者・重症心身障害児者と家族のための：ほらりすのみちしるべ」は医療的ケア児者の家族の為に情報をまとめた冊子。

下記のホームページから閲覧とダウンロードできます。

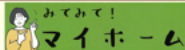


この可愛らしいイラストはスタッフのご親族の画家が描いているそうです。

愛称の「ほらりす」は、空を見上げるといつも北の空を放つ北極星のように、千葉県のどこに暮らしていても、迷った時に道標となることをめざして命名したそうです。

千葉県医療的ケア児等支援センターはご本人・ご家族・支援者を見守り応援する千葉県の空に輝く「ほらりす」北極星でありたいと願っているそうです。





## さくらメイト

住所：さくら 本郷津市福沢南3-12-14  
 HARU 本郷津市福沢南3-12-15  
 結（YUKI） 志津市西畑田4-8-12  
 電話：0438-77-6223  
 HP：https://poptop5613.wixsite.com/sakura  
 MAIL：staygold422@gmail.com



合同会社 STAY GOLD 代表 青木 徹氏

### 笑顔あふれるグループホーム

JR君津駅から徒歩15分の閑静な住宅街にある「さくらメイト」に、今回はお邪魔しました。介護サービス包括型で、平均区分は3.5です。代表の青木敬（たかし）さんが2年前に始めたホームで、障害を持つお子さんがおられることが開設の動機の一つ。

「自分が住みたい家、家族を任せられるホームを創りたいと思ったんです」と、控えめ口調とおっしゃいます。さくらメイトは、青木さんの長女の名前に因んだ「さくら」、

長男の名前に因んだ「HARU」、そして今回訪問した「結（ゆい）」の3棟で構成され、すべて4名定員の戸建て男性棟です。結は2月にオープンしたばかりで、「良縁に結ばれるように、これを一旦、完結」の意味が込められているそうです。君津圏域ではこの数年、GHが増して飽和状態となりつつあります。

「2年前までは、GHに入りたくても数が限られていて、選べなかった。選べるようになってきたこと自体は好ましいと思います」と、青木さん。入居者のAさん（62）に「ここを選んだ理由をお聞きしました。第一に、コンビニやドラッグストアが近くにあり、立地条件が良かった。第二に、建物が良かった。値段は決め手は、経営者の人間性でした」。



おしゃれな雑貨が、ホームに「彩り」を添えています



彩りと栄養豊かな手作り料理

「パンフレットがどんなに素晴らしいかと、問題も、建物は建てるだけ、私達は建てるだけ、関係の仕事をしていたから、別のGHを体験した際、ペンキが剥がれていたり崩が崩れていたというのが気になった。いくらく障害者といっても、分かる人には分かるんです」。

ポリウムたっぷりの料理はすべて、男性の世話人さんたちによる手作りです。献立作りまでこなしているそうです。

スタッフの人間関係には一番気を使っているとのこと。ギスギスしている利用者さんにも影響が及んでしまいます。

また、特定の利用者や特定の世話人の間で依存関係が生じないように、3棟間でスタッフのローテーションを組んでいるのだとか。フランスの片田舎を思わせる壁時



居室の様子です

□ 利用料金 □
家賃（家賃補助抜）
30,000～42,000円
食費
27,000円
光熱水費
13,000円
日用品費
10,000円



玄関のカメラで防犯もバッチリ

計、温かな微笑みを絶やさないサビ管の列込さん。物件選びにじっくり1年を費やしたというこの空間は、ほっとさせるものであふれています。防災カーテン、テレビ、ベッド、布団、ミニテーブル、ミニ冷蔵庫は備え付けのため、即入居が可能です。



外観の様子です

「福祉の仕事は大変な部分もありますが、他の仕事にない喜びや学びに繋がる事が多いです。スタッフも利用者さんも良きところを伸ばし改善を繰り返しながら、皆と一緒に作っていくGHでありたいと思っています」。

# さくらメイト HP



# 起勢逢楽



あひ けんい づむじ なおと  
安房園域 街風直人

中核地域生活支援センターひだまり  
住所：館山市山本1155  
電話：0470-28-5667  
メール：awa@chibaghw.org

「起勢逢楽」は各園域を奔走するGH等支援ワーカーを紹介するコーナーです。



「他のGHに移りたい」と言う入居者さん本人か

法人内の人事異動で、昨年の4月から障害者グループホーム等支援ワーカー（以下支援ワーカー）として勤務する事になり、毎日慌ただしく通勤している間に気付けば1年が経ってしまいました。不安は沢山ありましたが、皆様のご指導を頂きながら何とかやってくることが出来ました。

障害者グループホーム（以下GH）は、法人内でも経営している事もあり、どういう物かのイメージは出来ていたのですが担当園域のGHを見学させて頂くと、GHにも色々あり、そこで起きている問題や相談も様々でした。



らの直接相談や、「誰か入居希望者はいませんか？」「もううちのGHでは対応が難しい」と言った管理者、設置者さんからの相談、「こういう方を受け入れてもらえる所はあるか」「会議に立ち会ってほしい」といった相談として話を聞いて欲しい」と言った相談支援専門員さんからの相談、その他入居者の男女トラブルやスマホトラブル、被害妄想や幻覚、幻聴、自傷、他害、激しいこだわり等の精神症状や障害特性から来るトラブルまで沢山の相談が寄せられます。

また、新たに開設したいと言う相談も多くあります。園域の現状を踏まえ相談に乗っていますが、GHの数は年々増え続けている一方、最近では各園域でも空きが目立ち始め、閉鎖する所まで出てきています。

障害を持つ方が自分に合った場所を選べるようになってきた反面、選ばれない所も出てきているのが現状です。GHを取り巻く現状や問題は各園域で必ずしも同じでは無く、特徴が違うところを昨年1年、支援ワーカーとして関わる中で学びました。



入居希望者の傾向としても、安房園域では立地（利便性）を気にする方が多く、その後就職先事業所、生活介護事業所といった日中利用している事業所の送迎範囲内で検討する方が多かったと思います。

## 後記編集



逆にどんなに環境が整っていても日中過ごす事業所の送迎範囲を超えてしまおうと選べないという様子も見られました。

山間部より都市部、古いよりは新しいGHに入りたいと言う気持ちも当たり前かもしれませんが、支援ワーカーとして本人にとって一番居心地の良いGHを提案していける様に今年も頑張りたいと思います。

**安房園域 GH数**

法人数：35法人  
事業所数：36事業所  
住民数：123戸  
定員数：523人  
令和5年 5月現在

今号から全面的にリニューアルされた「暮らしを拓く」はいかがでしたか？

千葉県グループホーム等連絡協議会のホームページも開設したので、「ホームページ」最新の活動情報を提供。

「広報誌」雑誌のように読み込める情報を提供し、役割を分担する事にしました。

デザインもスタイリッシュに、写真もふんだん

## グループホーム等支援事業について もっと知りたい方はコチラ

ホームページ  ツイッター  

に使って、明るい紙面づくりを意識しました。

次回から千葉県で充足を期待されていくGHに増えるために、福祉事業所へインタビューを行ないます。

「みてみてマザーホーム」では、千葉県内の素敵なGHも紹介して行く予定です。それでは、次回も、よろしくお願ひします。

連絡協議会 広報班一同

暮らしを拓く48号 発行  
千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会  
TEL.0478-79-6919（事務局） MAIL:kouhou@chibaghw.org  
発行日/令和5年6月24日 編集/連絡協議会 広報班